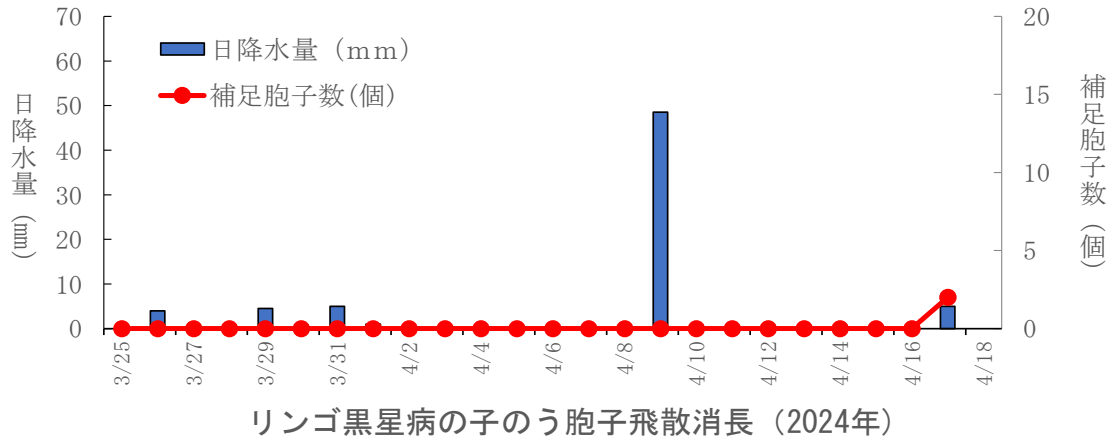


リンゴ黒星病の子のう孢子飛散消長調査結果

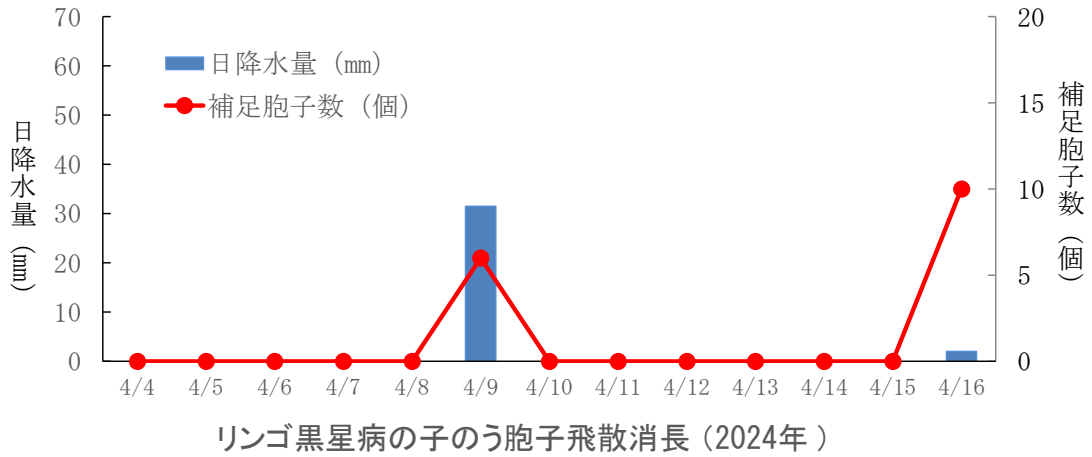
令和6年4月18日
秋田県果樹試験場

◆調査結果

1) 横手市平鹿町（秋田県果樹試験場）



2) 鹿角市花輪（かづの果樹センター）



子のう孢子の飛散を確認しました (県北4月10日、県南4月17日)

黒星病の感染期に入りました。今後、降雨と共に孢子飛散量が増え、感染の危険性が高まります。県北部では、展葉期（芽出し後10～14日後）のベフラン液剤1,000倍を速やかに散布し、展葉期散布から7日後にストライド顆粒水和剤1,500倍を散布しましょう。県南部では、展葉10日後にパスポート顆粒水和剤1,000倍を散布しましょう。